

加藤レディスクリニックを受診された患者さまへ

2025年12月1日

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で試料および診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究参加への同意は患者様の自由意思にて随時撤回が可能です。

研究課題名 (研究番号)	ヒト胚盤胞の3D-Outgrowth culture システムの構築と胚盤胞の着床機構の解明 (25-03)
当院の実施体制	研究責任者：加藤 恵一（院長） 研究分担者：江副 賢二（研究開発部）
本研究の目的	本研究は、体外受精治療の過程で得られ、すでに研究利用への同意が確認されている凍結胚盤胞を用いて、着床の仕組みをより詳しく理解することを目的としています。これまで、胚が子宮内でどのように定着し、成長を始めるのかについては、十分に分かっていない点が多くありました。本研究では、胚を立体的に培養する新しい方法を用いることで、これまでの培養方法では観察が難しかった着床時の胚盤胞の変化を調べます。この研究によって得られる知見は、将来、より妊娠しやすい胚の評価方法の改良や、生殖補助医療の発展につながる可能性があります。なお、本研究は基礎的な研究であり、現在受けておられる治療内容や治療成績に影響を与えるものではありません。
調査データ該当期間	2016年1月1日から2025年11月30日まで
研究の方法	○対象となる患者さま 該当期間中に凍結胚盤胞の廃棄を申し出られ、かつ胚の研究利用について同意をいただいた患者さま ○利用する試料・情報 凍結胚盤胞、患者さまの年齢、胚の培養条件、胚の評価情報
他の研究機関および各施設の研究責任者	九州大学大学院医学研究院 二井 偉暢（九州大学大学院医学研究院 発生再生医学分野、助教）
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	一部の胚盤胞は冷凍または固定処理された状態（生きた細胞は含みません）で提供されます。あわせて、患者さまの年齢、胚の培養条件、胚の評価情報を提供しますが、個人情報は一切提供いたしません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会および論文等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 個人情報は当院の個人情報管理者が当院内で厳重に管理します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	メール：k-ezoe@towako-kato.com 担当者：加藤レディスクリニック 研究開発部 江副 賢二
備考	なし